

長崎市立中学校の休日部活動の地域移行について



長崎市の現状は？

現在、長崎市には 36 中学校に約 8,400 人が在籍しています。18 種目の運動部活動と 11 の文化部活動があり、約 75% の 6,300 人が部活動に加入しています。その中には部員が少なく、大会やコンクールに参加できない部や、休部または廃部の危機に直面している部もあります。

なぜ部活動の地域移行が必要？

【課題①】

生徒数減少に伴い、大会出場や活動継続が難しい

大会に参加できない
十分な練習ができない

【課題②】

学校単位で構成される部活動の運営が困難

休部や廃部の危機
校区の中学校に希望する部がない

【課題③】

競技経験や指導経験のない教職員が顧問として指導している場合もある

生徒が専門的な指導を受けられない
教職員の業務負担

各学校単位での活動を基本とする部活動から、学校の枠組みを超えて地域に移行することで、持続可能なものにする

目指す姿

- 少子化の中でも、将来にわたり子どもたちがスポーツや文化活動に親しむことができる機会を確保します。
- 地域に持続可能で多様なスポーツや文化活動の環境を整備し、子どもたちに多様な体験機会を確保します。

いつから変わる？

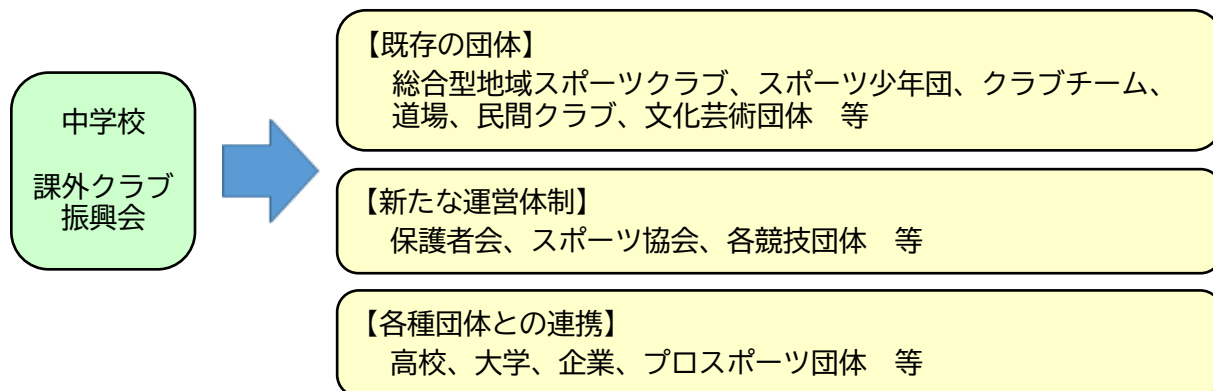
- 令和 5 年度から令和 7 年度までの 3 年間を『改革推進期間』とし、それぞれの地域、競技や文化活動の実情に応じて、移行できる部活動から休日の活動を、段階的に地域に移行します。

どのように変わる？

- これまで学校が運営してきた「部活動」から、各地域の「地域クラブ活動」へ移行します。
- 平日はこれまでの「部活動」、休日は「地域クラブ活動」という形で活動することになります。
- まずは休日の部活動について着実に地域への移行を進め、次のステップとして平日の部活動についても地域への移行に取り組むことになります。

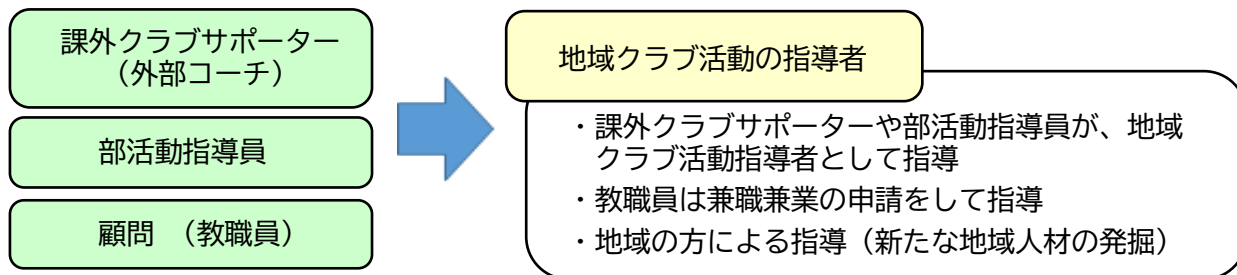
誰が運営する？

- 部活動を地域クラブ活動へ移行するにあたり、新たに運営主体が必要となります。国や県からは、次のような運営団体がモデルとして示されています。



地域クラブ活動の指導者は？

- 地域クラブ活動の指導者は、これまで中学校の部活動を支えてきた顧問や課外クラブサポーターの方々に加え、新たに地域の方々の協力も必要となります。



今後の進め方は？

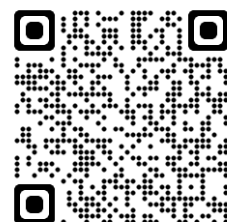
- 国や県の「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方に関するガイドライン」を受けて、長崎市としてのガイドラインを策定していきます。
- 運営主体となる受け皿が整い次第、移行できる地域・移行できる競技や文化活動から、学校で行っている部活動の地域クラブ活動への移行を進めていきます。
- 関係者協議会で課題等を明らかにし、活動場所や移動手段、会費や参加費の設定、保険加入等についても検討を重ね、市、学校、関係機関、各競技団体等と連携しながら進めていきます。



中学校部活動の地域移行に関するアンケートにご協力ください

長崎市立中学校に通う生徒および保護者を対象にアンケートを実施します。中学校部活動の地域移行を進めるにあたり、多くの方の声を集めたいと思いますので、部活動への参加の有無に関わらず、ご協力をお願いいたします。(※お子様が回答する項目と保護者が回答する項目がありますので、必ず一緒にご回答(送信)ください。)

件 名：長崎市立中学校部活動地域移行に関するアンケート(中学校 生徒・保護者用)
回答方法：右のQRコードまたは次のURLから、Google フォームにて回答
U R L：https://forms.gle/gbh9A2uzGLULV8hTA
回答〆切：令和5年3月17日(金)



【運動部活動に関するお問い合わせ】

長崎市教育委員会健康教育課 095(829)1197

【文化部活動に関するお問い合わせ】

長崎市教育委員会学校教育課 095(829)1195